

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 デイサービス

日時： R7年 5月 25日 10:00～11:30

場所： 寿生病院 6階大会議室

出席者
 (人数)

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	14人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他（事務次長、管理者、介護リーダー、介護職）			7人

1、利用者様状況報告（5月23日現在）

利用者数：桜棟9名 梅棟9名（男性1名 女性17名）

介護度分布：桜棟 要介護1:4名 2:4名 3:1名 4:0名 5:0名

梅棟 要介護1:3名 2:4名 3:2名 4:0名 5:0名

平均介護度：桜棟 1.7 梅棟 1.9 全体平均 1.8

平均年齢：桜棟90.1歳 梅棟92.2歳 全体91.2歳（最高齢104歳 最年少83歳）

待機者：23名

入退所：なし

在所期間：3ヶ月～18年7ヶ月

2、活動状況報告（スライドショーにて報告）

行事報告

4月～お花見

今年は桜の花が綺麗で長持ちしたので、皆様があちこちの桜のお花見に出かけて楽しまれた。
 記念撮影の際も笑顔が見られた。

5月～家族会

行事予定

6月～現在検討中

7月～七夕会

普段の活動

- ・家事作業全般、煮物やおやつ作り、縫い物、壁画作り（折り紙・ちぎり絵、端切れを使った作品作りなど）、歌、塗り絵、風船バレー等のレク、誕生会、パソコンゲーム、日記を書く、庭の掃除や花の世話等々個別の活動も行っている。以前の趣味のパッチワークを始められた方もある。
- ・母の日には面会も多く、その上洋服や帽子、お花などのプレゼントもとても喜んでおられた。
- ・ゆでたタケノコの差し入れをいただき、筍ご飯や煮物などで季節をしっかりと味わってもらえた。
- ・日常的に面会時の自分で作った野菜を届けてくださる方もあり、本当に感謝している。
- ・靴下端切れを使って製作した大作がいくつかあり、それを寿生病院の玄関に展示してみてもどうか、という話がある。月替わりで今後少しずつ展示したいと思っている。

機能訓練について

- ・ラジオ体操や棒体操、嚥下体操、個別の運動も継続して行っている。
- ・定期的にリハビリ専門職（作業療法士、理学療法士）の方に来ていただき、利用者様の個別の運動についての助言をもらっている。先日は言語聴覚士にも来ていただき、ムセや飲み込みに不安がある方の飲み込みの評価を行っていただいた。ある利用者様はトロミをずっと使用していたが、お茶などにはトロミは不要、みそ汁など具のあるものは必要というような結果を受けて現在対応している。
- ・気候が良くなるので散歩や外出も行っており、基礎体力の維持ができると良いと思っている。

3、感染症・面会制限について

この冬はインフルエンザ、コロナ、ノロの感染症が発生して利用者様、職員共に大変な冬だったが、3月以降、また平穏な日々が戻ってきて、本当に嬉しく思っている。

基本的な感染対策は継続していたので、感染は一部で抑えられたということもあるが、利用者様にはご迷惑をおかけしたと思っている。今後も感染対策を継続して、できるだけ“持って入らない”ようにしたいと思っている。

面会については現在、2名まで、中学生以上、マスク、手の消毒、15分程度でという制限はそのままで行って頂く様にお願いしている。予約や回数などの条件はないが、体調の悪い方にはご遠慮いただいている。ご理解・ご協力感謝している。

4、記録の電子化について

これまで記録に関しては全て手書きで行ってきたが、電子化することで様々な利点もあるということで、4月から導入している。まだ慣れないことも多いが、一日も早く有効な記録になるよう頑張っている。記録にかかる時間を少しでも短くして、利用者様に関われる時間がとれると良いと思っている。

5、保険証の取り扱いについて

出雲市に確認したところ、当初、マイナ保険証（紐づけの有無など）の関係で資格確認書が無条件で発行される方と資格確認書の交付申請をしないといけない方があったが、先月あたりで変更になったようで、全員が手続きなしで資格確認書が交付されるようになった。もう1年の間はそのまま使用できるということだが、その後は未定とのことだった。今後、また情報があればお知らせしたい。

6、職員について

現在、各棟とも退職があったわけではないが、それぞれ職員が増えた（パート職員を合わせて桜棟10名、梅棟11名）。他施設では職員不足という話を聞くので贅沢な状況になっている。日によっては通常より多くの職員が勤務するので、普段できない活動や外出、施設の掃除や障子貼りなどを行っていきたいと思っている。利用者様の声を聴き、要望があればできるだけ叶えていききたいと思う。

変わらずフィッシュ哲学（態度を選ぶ、相手に向き合う、相手を喜ばせる、仕事を楽しむ、の4原則）を意識しながら職員・利用者様共に居心地の良い環境になれば良いと思っている。

7、意見交換

<家1>日頃からとても良く見ていただいていると思っている。転倒して腰痛がある時も、面会に行くたびにベッドや椅子の位置が調整してあったりして細かく対応してもらっているんだと感謝している。

<家2>昨年入所させてもらった。家ではできないことをさせてもらって、とても良い表情で過ごしていることが写真などで分かり、とても感謝している。

<管>以前の趣味のパッチワークの作品をお部屋に飾られているが、本当に立派な作品で、「個展」を開いて多くの方に見てもらおうと良いと思うくらいのものだと思っている。最近は一人では無理でも職員と一緒に取り組んでもらうといいのではと思う。来年の展示に並ぶのではと思っている。

<家3>3月から入所している。それまでは一人でいることが多く、表情も暗かったが、面会の時

の表情も明るくなっていた。スライドでも笑顔が見られた。家に居る時はあまり食べないこともあったが食事も美味しいと言って全部食べているようだった。体操も 30 分以上しっかりやってもらっているので元気に過ごしてほしいと思う。

<管>たけのこ、感謝している。とても良い表情で過ごされている。着替えの件などもご協力いただき感謝している。

<家 4>感染症の時はご迷惑をおかけしたと思う。わがままなところもあるのでいろいろと困らせているのではないかと心配している。元々行事ごとが好きな人なので、こうやって毎月行事をやってもらったり、外に連れて行ってもらったりして喜んでいる。

<市>スライドを見せてもらって職員さんが季節に応じた活発なイベントなどをされていることが分かった。食事でも職員さんが調理されていると聞き、みそ汁や料理の匂いが施設内にあるということは今までの生活が感じられ、とても良いなと感じた。質の高い対応をされていると思う。多職種で統一されたケアをされているので利用者様の介護度が軽い状態で維持出来ているように感じる。外に出掛けたり、ゲームをしたり様々な活動をされているので、満足度も高いのではと思う。100 歳を超えた方や 100 歳を迎える方もあった。出雲市でも 100 歳の方には総理大臣賞のお祝いがある。今後も元気でいてほしいと思う。

<管>スライドで見て頂いたと思うが、実年齢より若そうに見える方は多い。しっかり運動したりして元気に過ごして欲しいと思っている。

マイナ保険証に代わる資格確認書について、先月あたりに申請が不要になったようだが、一年間のことなので、変更があればお知らせいただきたい。

<家 5>スライドショーはいつも楽しみにしている。毎年、職員さんの技術が上がっているように思う。また、展示してある写真におみくじやお宮などよく作られていると感心して、写真を撮らせてもらった。家族でまた見たいと思う。食事でも良く食べているようで、顔を見ていると、満足していると思う。

<管>スライドショーは本当にたくさんの写真の中から選んで、わかりやすいように並べて、コメントをつけて、BGM を選んで…という工程があり、大変だけれど、年々上達されている。こうやって見ていただき喜んでもらえると作り甲斐がある。

<家 6>入所して 10 年以上になる。食事はいつも美味しいと言って喜んでいる。インフルエンザにかかったりして、お世話が大変だったと思う。感謝している。

<管>感染症の際はご心配をおかけして申し訳なかったと思う。

食事の提供は 7 月から業者が変わり、主菜と副菜 2 品のみが来るので、ご飯やお粥、みそ汁や乳製品、その他ビタミン類が摂れるものを追加して提供しなければならない。夜勤が朝の味噌汁を作っているが、とても頑張ってくれている。頂き物の野菜などを料理の得意な職員が下ごしらえをしたり、お昼やおやつに一品追加してくれたりして、提供しているが、残飯も少なく、皆さん喜んでくださっている。

<家 7>スライドショーはとても生き生きとした表情がたくさんあり、和やかな雰囲気も感じられた。皆、役割を持って生活できているんだと思う。いろいろな訴えや不安、夕方の不穏などありご迷惑をかけることもあると思うが見守って頂きたいと思う。

嫁としても娘の出産と同時に病気がわかり本当に大変な状況な時に入所できて本当に良かったと思っている。いつ面会に行っても職員さんが暖かく迎えてくれて嬉しかった。本人の夫も顔を見に行くのが楽しみになっている。

また、毎月の状況を丁寧な手書きでお知らせ頂いていて感心している。

職員さんが増えたということは職場環境が良いということではないかと思う。

<管>コメントについてご評価いただき嬉しく思う。野菜の差し入れも感謝している。

<家 8>以前のところではいつもしかめ顔をしていたが、こちらに移ってからはいつも笑顔で過ごしているようで、変わって良かったと思っている。食事が変わって体重が増えたのはうちだと思う。健康でいてほしい。

<管>食事は大事だけれど、体重が増えすぎるとご本人もしんどいので、食べる楽しみは維持しながら、トータルで見て調整している。

<家 9>初めてスライドショーを見せてもらった。一年ほど違う施設に入っていたが、移ってからは本当に笑顔が増え、行事や日頃の生活面などきめ細かい対応で驚かされた。また、面会に来たり、受診に行ったりして自分が帰る時に職員さんが「ありがとうございました。」と言って送ってくれ

る。こちらがみてもらってありがたいのに…と感じている。本当は自分がみてやらないといけないうのという気持ちもあるが、笑顔で暮らしているのを見るとお世話になって良かったと思う。

<管>ご家族の中にはやはり施設に自分の家族を入所させたことに罪悪感を感じておられる方がある。でも、認知症が進行して自宅での生活に支障が出てきた時、家族は介護も、自分の仕事も生活もすべて同時にやらなければならないようになって、体調を崩されたり、慣れない介護で心を病んでしまわれたりすることもある。そういう時に施設に入居してもらうことで家族も負担が少し軽くなって、健康で仕事も継続できるということもある。また少し距離を置くことで気持ちも優しくなって関係を壊さずに維持できるという面もあると思う。そういう意味でも施設をうまく使ってほしいと思っている。

<家 10>2 年前に骨折して病院など過ごして 2 月に入所となった。食事はミキサー食やトロミなどで面倒をかけていると思う。でも、トロミの使用についてや、不要な薬について検討してもらって快方に向かっていると喜んでる。

家族としては「穏やかに過ごせれば良い」という要望だったがそれを実現してもらっていると思う。特殊な歩行器だったが準備してもらって、転倒もなく過ごさせてもらっていて感謝している。入って良かったと思っている。

<管>「要望」とおっしゃったけれど、ケアプランの更新時に要望がないか皆様に確認している。要望は少しでも叶えていきたいと思っている。

入所された時はととてもたくさんの薬を飲み、ミキサー食トロミの食事だったけれど、職員からも「必要か？」という疑問の声が上がった。薬は受診時に検討して減っている。トロミは法人内の言語聴覚士に評価を依頼して、その結果、減らすことができた。

<家 11>スライドショーを見せてもらったが、みんな表情が可愛い！と思った。母もこんな笑顔だったかな、と思うくらいだった。84 歳だけれど若々しく見えた。BGM もとても素敵だった。母と一緒に暮らしたかったけれど、入所して優しくしてもらって、メンタル的にも良くなって本当に良かったと思っている。毎月、担当さんと師長さんからのコメントを手書きでいただいているが、実はそれを切り取って日記に貼っている。とても分かりやすく丁寧で、感謝している。

<管>カメラを向けられた時だけでなく、普段から可愛い笑顔で答えて下さっている。

コメントをそういうふうにしてもらっているという話は初めて聞いた。嬉しく思う。これからも頑張って伝えたいと思う。

<家 12>入所のときは半ばだましていれたような状態だったので、帰宅願望も激しく、しばらくは会えなかった。でも施設の皆さんの温かさを感じて穏やかに過ごせるようになって良かったと思う。それまでの施設のイメージと違っていた。スライドを見たり、毎月送ってもらっている家だよりの笑顔を見て安心している。東京の姉にもそれを送って、姉も安心している。独居の時は、何かあってもわからないが、先日のように転倒したりしてもそばに人がいてくれて安心している。

<管>入所の時、だます側に関わったが、やはり施設をうまく使って欲しいと思う。独居での生活が続けられない状況があれば仕方がないと思う。結果としてはある程度ご本人も納得されていると感じている。

<地>スライドショーはいつも感心して見させてもらう。良い笑顔もあり、とても良いケアをされているのだと思う。コロナなどの感染症も無事乗り越えられ、ご苦労だったと思っている。フィッシュ哲学に自分達はなかなか接する事がないが、とても良いことだと思う。職員も増えたということで、職場環境を良くすることなのだと感じている。

<家 13>昨年秋に急に体調を悪くして混乱などもあり、2 月に限界を感じて入所をお願いした。他の家族から「おばあちゃんを施設に！？」と色々言われて罪悪感があった。今日、他のご家族の話を聴いて涙が止まらなかった。スライドの中にはとても良い笑顔があって安心した。本当にありがたいと思う。

<管>よく、介護しない家族は色々なことを言われて“罪悪感”を感じたり、体調を崩されることもあると思う。穏やかに過ごされているので、お孫さん方にはしっかり面会に来ていただいていたほしい。

<有>今日は少し遅れたのに駐車場まで本当に心配りがあって有難かった。

毎回、スライドショーを楽しみにしている。笑顔は職員のみでなくご家族も幸せにしてくれると思う。

私は穂なみという介護支援事業所でケアマネをしている。入所されると担当ではなくなり、施設の

ケアマネに引き継ぐことになるので、様子がわからないが、こうやってスライドで様子が見れて、得した気分になる。住み慣れた所から大きな決断をして施設に入所されると思うが、そこからの「リスタート」だと思う。職員さんもお家族の応援があって良い介護ができると思う。そうすることで自己肯定感が生まれてくると思う。これからも頑張っしてほしい。

<管>「リスタート」というとても良い言葉をいただいた。施設に入って終わりではなく、そこから新たに職員の支援も受けて、ご家族などと良い関係も維持して、利用者様が笑顔で元気に生活が送っていけると良いと思う。

<次>今日はたくさんの方にご出席いただき感謝している。素敵な言葉もいただいたと思う。管理者中心に日頃から頑張っており、感染症の対応も乗り越えられたと思う。食事の提供方法も変わったが、職員が頑張ってくれて、感染症が発生しているときも食事提供が続けられたことは本当に良かったと思う。職場が離れていてなかなか手伝いも出来ないが、協力していきたいと思っている。

<管>いつも次長さんにはお世話になっている。記録の電子化でもまた、感染症の対応の時には必要物品備など真っ先に動いていただいている本当に感謝している。

<介リ>これまで利用者様が「できない」と諦めていたことでも支援すればできること、希望されることは少しずつでも取り組んでいきたいと思う。

<介リ2>感謝の気持ちや言葉をたくさんいただいて自己肯定感が上がった。今後も頑張っていきたい。

<介>たくさんのお褒めの言葉をいただいて感謝している。これからも頑張りたいと思う。

<介>多くのご家族様にご参加いただき、また、感謝のお言葉をたくさんもらって“もっと頑張ろう”というその力を授かったような気がする。

<介>たくさん嬉しい言葉をいただいて自己肯定感が高まった様な気がする。これからも頑張っていきたい。

<管>今回、日曜日の開催だったが、通常は奇数月の第4木曜日となっている。お仕事をされている方には案内をしていないこともあるが、「今回出られるよ」という方は是非ご参加いただきたい。また、スライドショーは今回だけだが、いつでも見てもらえる。会議の場でも、面会時でも声を掛けていただければ準備したいと思う。見られなかった方にも楽しんでいただきたい。

本日は本当にたくさんの方にご参加いただき感謝している。

以上